

2024年3月期 第3四半期
決算説明資料



松田産業株式会社
2024年2月9日





本資料は弊社についてご理解を深めていただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料の掲載内容は、現在までにプレスリリース等を行った各種資料に基づいて作成しておりますが、掲載内容の正確性、完全性、相当性、その他一切について何ら責任を負うものではありません。

また、掲載されている文章・グラフなどの欠落・誤謬などにつきましては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等に伴い、目標と異なる可能性があることにご留意ください。

<お問い合わせ先>

松田産業株式会社
CSR・IR部

お問い合わせフォーム : <https://www.matsuda-sangyo.co.jp/ja/contact/contact4.html>

決算の概要（2024年3月期 第3四半期）

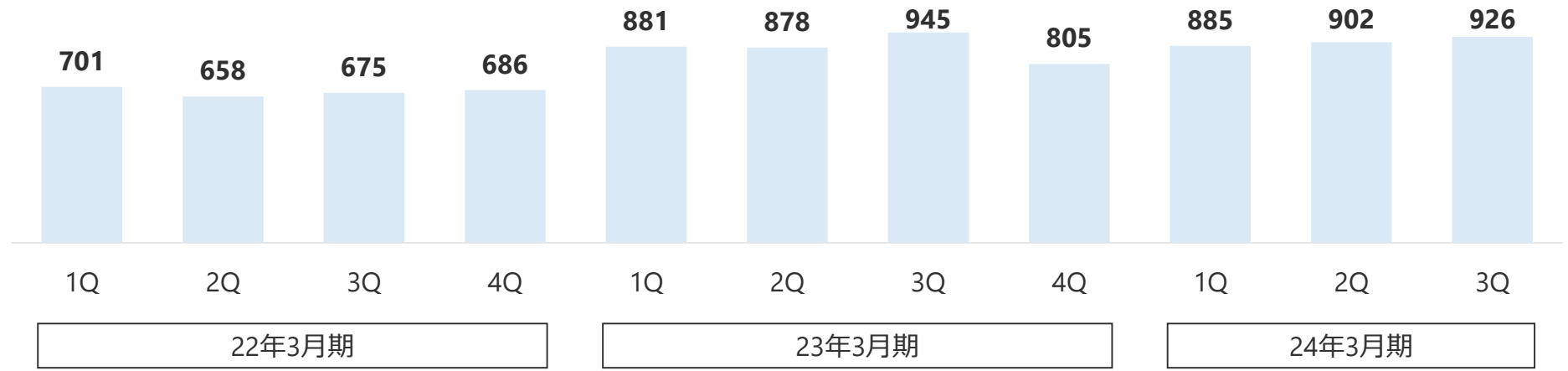


- 貴金属関連事業、食品関連事業ともに厳しい市場環境の中で、売上高は2,713億円（前年同期比8億円の増収）、営業利益で71億円（前年同期比42億円の減益）

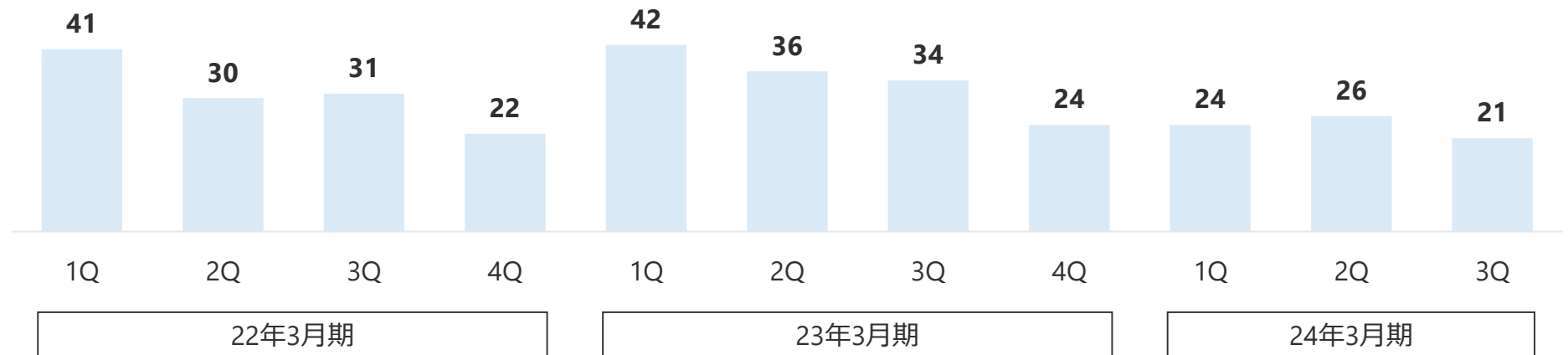
	23年3月期 3Q実績	24年3月期 3Q実績	増減		(億円)
					23年3月期 通期見通し
売上高	2,705	2,713	+8	+0.3%	3,600
営業利益	114	71	▲42	▲37.1%	100
営業利益率	4.2%	2.6%	▲1.6pt	-	2.8%
経常利益	113	79	▲34	▲30.0%	110
四半期純利益	79	53	▲26	▲33.0%	76
1株当たり四半期純利益（円）	305.7	205.2	▲100.4	▲32.9%	291.4

(億円)

売上高



営業利益



連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	23年3月期末	24年3月期 3Q末	増減	増減要因
流動資産	893	992	+99	(+) 受取手形、売掛金、棚卸資産の増加
固定資産	398	449	+50	(+) 工場設備の新設（北九州、入間）
資産合計	1,292	1,442	+150	
【負債の部】				
	23年3月期末	24年3月期 3Q末	増減	増減要因
流動負債	278	400	+121	(+) 買掛金、短期借入金の増加
固定負債	166	145	▲21	(-) 長期借入金の返済
うち有利子負債	192	291	+98	
負債合計	445	545	+99	
【純資産の部】				
	23年3月期末	24年3月期 3Q末	増減	増減要因
純資産合計	846	897	+50	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	1,292	1,442	+150	
自己資本比率	65.4%	62.0%		

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	23年3月期 3Q実績	24年3月期 3Q実績	増減	24年3月期3Q実績の概要
営業キャッシュ・フロー	▲42	▲27	+14	減価償却費及び仕入債務の増加、売上債権及び棚卸資産の増加
投資キャッシュ・フロー	▲103	▲50	+52	工場設備の新設（北九州、入間）
フリー・キャッシュ・フロー	▲146	▲78	67	
財務キャッシュ・フロー	122	78	▲44	短期借入金の増加、長期借入金の返済、配当金の支払及び自己株式の取得
現金及び現金同等物の増減	▲15	7	+22	
現金及び現金同等物の期末残高	98	124	+26	

セグメント別の業績（貴金属関連事業）

- エレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、人工知能（AI）技術などに伴う新たな需要の兆しは見られるものの、全体的な生産状況は依然として停滞が続く厳しい市場環境
- 電子デバイス分野を対象とした貴金属リサイクルの取扱量及び製商品の販売量は減少し、宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量は増加
- 金相場の堅調な推移はあったものの、各品目の販売量減少により、全体の売上高は前年同期比▲44億円

				(億円)					
	23年3月期 3Q実績	24年3月期 3Q実績	増減		24年3月期 3Q実績	増減		増減要因	
売上高	1,911	1,867	▲44	▲2.4%	金	1,262	+157	+14.3%	数量減少 ▲0.1%、価格上昇 +14.4%
営業利益	94	53	▲40	▲43.5%	銀	123	▲3	▲2.9%	数量減少 ▲19.3%、価格上昇 +16.3%
営業利益率	4.9%	2.8%	▲2.1pt	-	白金族	345	▲167	▲32.7%	数量減少 ▲14.8%、価格下落 ▲17.9%
					その他	135	▲31	▲18.7%	産業廃棄物処理、電子材料等商品など減少

セグメント別の業績（食品関連事業）

- 需要面に顕著な変化がない中で販売価格の値上げなどにより緩やかに持ち直しの状況は見られたが、原材料価格や物流コストは依然として高止まりの状況が続く厳しい市場環境
- 各品目において数量に大きな変化はないものの、畜産品、農産品の販売価格上昇などにより、全体の売上高は前年同期比+53億円

		(億円)			
	23年3月期 3Q実績	24年3月期 3Q実績	増減		
売上高	793	847	+53	+6.7%	
営業利益	20	18	▲1	▲7.3%	
営業利益率	2.5%	2.2%	▲0.3pt	-	

	24年3月期 3Q実績	増減		増減要因
水産品	309	▲21	▲6.5%	数量減少 ▲6.7%、価格上昇 +0.3%
畜産品	366	+45	+14.1%	数量増加 +1.1%、価格上昇 +13.0%
農産品	109	+11	+12.1%	数量増加 +2.6%、価格上昇 +9.5%
その他	60	+17	+41.3%	数量増加 +62.5%、価格下落 ▲21.2%

営業利益の増減

- 貴金属関連事業は、電子デバイス分野の操業低下が続き、貴金属リサイクル等の数量減少が響く
- 食品関連事業は、農産品などの販売量増加が利益貢献したものの、仕入価格上昇や販管費増加を吸収できず

(億円)

貴金属関連事業



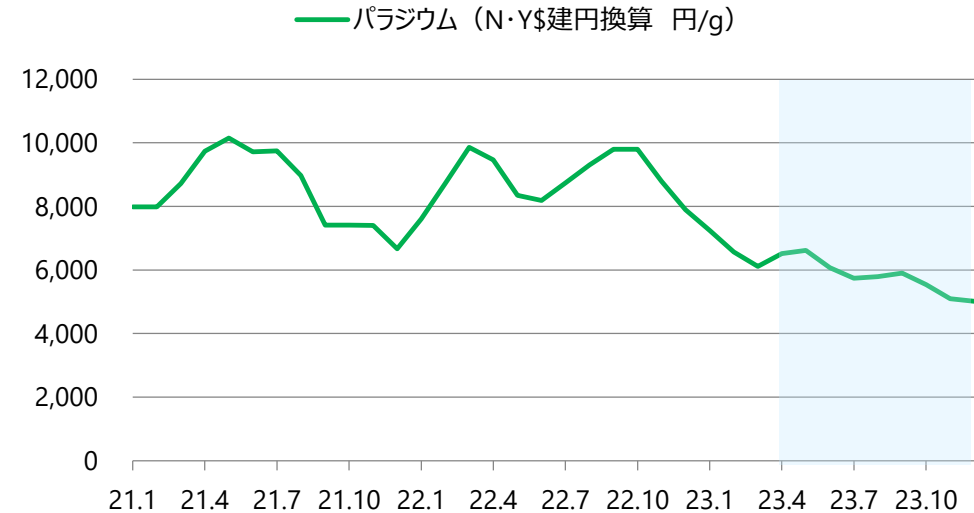
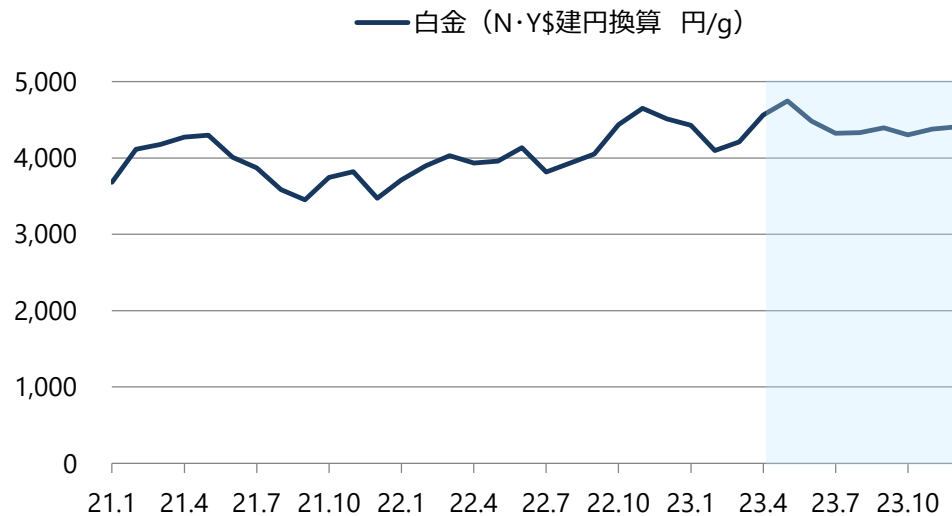
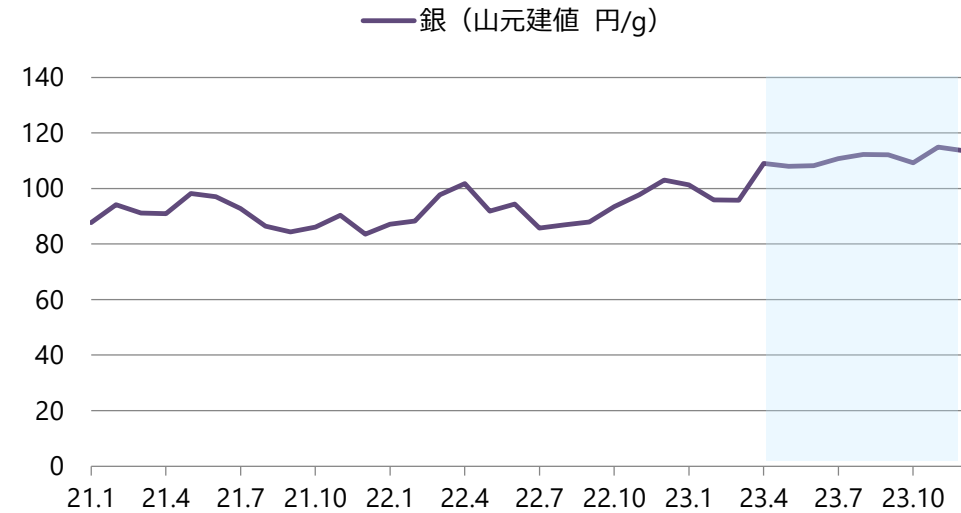
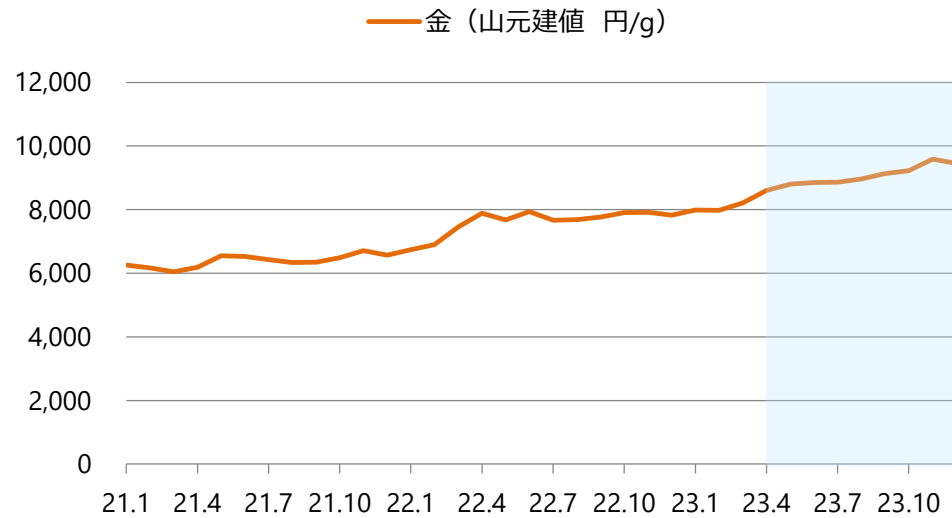
食品関連事業



Appendix



貴金属相場の推移





松田産業株式会社

MATSUDA SANGYO CO., LTD.